



# 泉っ子だより

みがきあい  
じぶんいろに  
ひかり、かがやく 泉っ子



令和2年 9月30日 28号

## 10月は『いじめ撲滅月間』です！

福岡県PTA連合会では、毎年6月と10月を『いじめ撲滅月間』として、子どもの健全育成をめざし、家庭教育の一層の充実を図る契機としています。いじめは決して許されることではありません。しかし、残念ながらどの子どもにも、どの学校でも起こり得る問題です。いじめ撲滅のためには、いじめを許さない厳しい目と子どもの小さなサインも見逃さない温かな目を持ち、適切に対応することが大切です。学校では、子どもたちの人権を守り、尊重し、いじめをなくしていくために子どもたちや教職員で様々な取り組みを続けています。しかし、それだけでは充分とはいえません。いじめを生まない環境づくりや家庭の役割が大変重要です。そこで、ぜひ家庭の中でも下記のような取り組みへの協力をお願いします。

- ① 「保護者用いじめチェックリスト」(別途配付)で、子どもの様子を観察したり、聞き取ったりし、不安や心配な面があれば、学校・ホットライン等に相談しましょう。(電話番号は下記に記載しています)
- ② 子どもと話したり、過ごしたりする時間を10分でも20分でも多く取って、子どもにとって、家庭生活が安心・安全で安らぎのある場となるようにしましょう。
- ③ 子どもの様子にアンテナを張り、子どもの意欲・関心を高め、伸ばすように心がけましょう。
- ④ 大人同士も相談し合うよい関係をつくり、子どもたちも将来住みたくなる地域環境をつくりましょう。
- ⑤ 学校や相談機関などとの連絡・連携を図って、いじめの早期発見、早期対応、早期解決に努めましょう。

◇行橋市立泉小学校 ..... ☎ 22-2369  
 ◇行橋市児童生徒相談センターホットライン...☎ 25-0119  
 ◇子どもホットライン京築 ..... ☎ 0979-82-4444

## 文部科学大臣からのメッセージ(一部抜粋)

新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。感染した人が悪いというわけではありません。学校や学級の中で感染することは悪いことだという雰囲気が出てしまうと、感染したと疑われることをいやがって、具合が悪くなっても、言いだしにくくなったり、病院に行くのが遅くなったりしてしまいます。すると、みなさんの地域で感染が広がってしまうかも知れません。感染した人たちが周りの友だちから心ない言葉をかけられたり、扱いをされたりしているということが起きています。こうしたことがみなさんの周りでも起きないように、一人一人が思いやりの気持ちをもってください。

## 「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」

また、私事で申し訳ありません。スペースをいただきます。もうずいぶん前のことになりますが、博多の出張からの帰りに小倉からソニックに乗車してきた女性の3人連れがこんなことを言っていました。「この駅名なんて読むのかな。朽ちると網と書いてるんだけど・・・」という具合です。一人が私の席の隣でしたので「クサミ」(朽網)と伝えました。ところが、その中の一人がリーフレットのようなものを取り出し、「これで『シンデンバル?』(新田原)。これって読み方『チクジョウ』(築城)でしょう。『ミケカド?』(三毛門)」と日豊線の駅名は、結構難しいようです。人名や土地名など、独特でほとんどの人が読めない漢字もあります。

そのとき、私はフッと小学校時代を思い出しました。今でも思い出すと顔から火が出るほど恥ずかしい読み間違いをしたからです。私は国語が苦手でした。本を読むことも、漢字を書くこともです。そんな私があるとき、珍しく国語の本読みで手を挙げました。新しい漢字の「子孫」を読めたからです。本を読みながら「コマゴ」と元気よく読んだのです。あまりの元気よさに、周りは一瞬シーンとしましたが、3秒後くらいに大爆笑です。「子孫」は「コマゴ」ではなく、「シソン」だったのです。私は、顔から火が出ました。その後も社会で2度失敗しました。「佐渡」と「雷門」です。新潟県の佐渡「サド」を「サワタリ」と読んでしまったり、東京浅草の雷門「カミナリモン」を「ライモン」と読んでしまいました。もちろん、そのときは大爆笑され、とてもとても恥ずかしい思いをしました。しかしそのときの担任の先生は大笑いもしましたが、こう言ったのです。「笑うのはもうおしまい。確かに末次君は間違った読み方をしましたが、読み方を知らなかったからです。今、みんなの笑いとともに末次君は漢字の読み方を知りました。だからもう間違えることも忘れることもありません。ねっ末次君。」と言ってくれたのです。そして、そのときに「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」のことわざを教えてくださいました。その後、友だちから間違ったことをからかわれることもありませんでした。そのときの担任の先生の神対応のおかげです。知らないことを人に聞くことは、ちょっと恥ずかしく勇気のいることです。しかし、聞くこともせず知らないままにすることは、一生恥ずかしい思いをするることになります。ぜひ、このことわざの意味を調べてみてください。

## 早いもので10月になりました

10月は「神無月(かんなづき)」といひます。この和月名に対して「無(な)」は「の」の意味で、神無月は「神の月」となり、10月は作物の豊作に対して神様に感謝することから神無月といわれる説、島根県の出雲大社(いずもおおやしる)に日本中の神様が集まり、出雲以外の地域では神様がいなくなるために、神がいなことから神無月といわれる説があるようです。ちなみに神様が集まる出雲地方では「神在月(かみありづき)」といわれているようです。また、神様がいなくなった出雲以外の地域には「留守神様」がいて、地域を護っているということです。どちらであれ、季節を感じる事ができるのが和月名ですね。